

全国環境連

1月号

2024年 新年のご挨拶

令和6年(2024年)年頭所感 新たな年を迎えて

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会

会長 河野 正美

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、新たな希望の元、所感を述べ新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は昨年5月に5類感染症に位置付けが変更され、法律による外出自粛等の一連の制限は無くなりました。現在、廃棄物処理業者には他の感染症を含め、個人の判断により感染予防に努め、廃棄物処理の安定的な継続を確保することが求められています。引き続き、エッセンシャルワーカーとしての使命を全うしていただきますようお願い申し上げます。

世界に目を向けると2022年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻による両国の軍事衝突は2年を経過しようとしていて、一般市民を含む非常に多くの死者を発生させながらも、依然として終息が見えない状況にあります。また、イスラエルガザ地区でのイスラエル軍の攻撃ではイスラム組織ハマスとは関係のない多くの一般市民が犠牲になり、大きな人道危機が発生しています。国際社会の戦争終結に向けた積極

的な関与により1日も早い停戦が実現することを望むばかりです。

さて、少子高齢化で日本の総人口は2008年をピークに減少に転じ、2050年には2010年との比較で居住地の6割以上で人口が半分以下に低下すると想されています。遠くない将来の人口激減社会において、長期にわたり持続可能な生活排水処理を確保するためには、下水道による集合処理から浄化槽による個別処理へと、その手法を切り替えていく必要があります。これから時代は地域社会構造の変化に柔軟に対応できるスマートなインフラが必要で、その代表格が浄化槽であると確信しています。

災害時の汚水処理が持続可能かどうかという点においても管渠を必要としない浄化槽が圧倒的に有利になります。地震による下水管の断裂や、施設への浸水による活性汚泥の流出等は復旧までに時間を要し、長期間の未処理放流を余儀なくされます。頻発する災害への対応力強化の観点からも避難所への浄化槽の設置を含め、個別処理区域の大幅な拡大が必要です。

全国環境連は関係官庁、行政機関のご指導の下、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与し、業界に課せられた社会的責任を果たして参ります。

結びに、本年も皆様方のご健勝と益々のご活躍、ご発展を祈念すると共に、当連合会に更なるご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



NITTO KOHKI



自動逆洗式プロワ
LAG-80E

☆お問い合わせは、お取り扱い販売店様へ
おたずねください。

逆洗式浄化槽には、これ1台。 18通りの作動プログラムインストール済！

逆洗・ばっ気が切り替えが可能
右ばっ気、左ばっ気が1台で対応可能。

手動逆洗6・12・168(7日間)時間
長時間設定可能。(通常10分)



簡単プログラム設定

リニア駆動フリービストン方式



メドーブロワ®

www.nitto-kohki.co.jp

修理研修受付中／デモ機依頼お気軽に！

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

メドー事業部

リニア営業課

〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4

Tel: 03-5748-5521 / Fax: 03-3754-0258

新年祝詞

新年の祝詞



環境整備議員連盟会長

衆議院議員 逢沢一郎

新年明けましておめでとうございます。全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会の皆様にはお元気に新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願ひ致します。

日本社会は、ようやくコロナ禍を克服して日常を取り戻しつつあります。コロナ禍にあっても、また今日でも連合会の各社皆様には、まさにエッセンシャルワーカー、事業者としての責任感と誇りを持って日々業務を遂行して頂いております。年頭にあたり改めて心より感謝申し上げます。

昨年10月熊本での全国大会は、大変なご盛会でした。全国から仲間の皆様が集いお互いを励ましあいながら、また切磋琢磨しながら国家と国民に奉仕しよう、という姿に大変感動いたしました。「創造的復興～水の新時代～」を大会テーマに掲げて頂いたことは本当に素晴らしいです。持続可能な地域社会、また地球であるために、これからも頑張っていきましょう。

廃棄物処理業は、政府の基本的対処方針において「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者」とされていることを改めて確認しておきたいと思います。今年も地域社会の発展のため、また日本経済再生、躍進のため、そして21世紀を真に環境の世紀とするために大きくご活躍下さい。

私は毎朝出かける前に「今日一日、よりよい世界を実現するた

めに、日本の躍進のために頑張ろう」と誓いを立てます。一日一日、全力を尽くすことが大切です。国際社会は大激動。内政も重要な課題が山積です。政治家の深い洞察力と未来を拓く指導力が求められています。私は昭和61年7月衆議院初当選。政治家として37年のキャリアをベースに内外の課題解決に挑戦します。素直な心で衆知を集めて努力を重ねます。

IMF国際通貨危機によると日本はGDP規模でドイツに抜かれて世界4位に順位を下げるとのこと。国と国民の総力を結集して強い経済を、豊かな日本を実現していかなければなりません。デフレマインドからの脱却です。安売り競争との決別です。大企業も中小企業も賃上げです。給料アップしないと人材が集まらない。税制で賃上げを応援します。仕入れ価格が上がれば、価格転嫁です。転嫁に応じない、よろしくない企業はその企業名を公表します。みんなで協力して、努力してよい物価高を実現していくうではありませんか。

財政や税制、また金融政策もフル稼働で国内投資を促します。経済安全保障の観点からサプライチェーンの再構築も必要です。資金調達をしやすくしてスタートアップ支援です。日本発のいわゆるユニコーンがどんどん出てくる環境を整備しなくてはなりません。

日本経済はデフレからの脱却を目指して本格的に動き出します。大企業の内部留保は投資や賃上げに向かいます。日本経済に対する評価や期待が高まれば円安も是正されます。経済の好循環で明るい展望をつくります。

政治は国民からの信頼があつてこそ、その力を發揮することが出来るのです。自由民主党は今改めて自らを見つめ直し、党改革を断行して国民からの信頼を取り戻さなくてはなりません。党総裁公選規程も見直しの対象にすべきです。自民党は自らを改革して成長を続けなければなりません。全力で取り組みます。よろしくお願い致します。

年頭所感

年頭所感

環境省 環境再生・資源循環局

次長 角倉一郎



令和6年の新春を迎えるに当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るつたこの3年余り、廃棄物処理に携わる皆様がエッセンシャルワーカーとして感染対策と廃棄物処理事業の継続の両立を図っていただきたことに、敬意を表しますとともに、改めて感謝申し上げます。

また、昨年も、全国各地で災害が発生しました。被災された方々に心より御見舞い申し上げるとともに、災害廃棄物の処理に対応いただいた方々に、心より感謝申し上げます。環境省では、災害廃棄物の適正な処理が円滑かつ迅速に進むよう、引き続き全力で支援してまいります。

待ったなしの気候変動問題、各国における資源循環の取組強化や企業の再生材需要の拡大、地方経済の衰退など、我が国は様々な課題に直面しております。資源循環と成長の好循環を目指す「循環経済」（サーキュラーエコノミー）への移行は、そうした諸課題の解決策となり得るものだと考えております。循環経済への移行は、資源の採掘・加工から廃棄に至るライフサイクル全体の温室効果ガス排出の削減につながり、ネットゼロ（温室効果ガス排出実質ゼロ）に貢献するものであり、更には国内での資源循環や再生材の利用を通じて、経済安全保障や産業競争力の強化にも資するものだと考えています。また、日本には、先進的な廃棄物処理・リサイクル企業が各地に立地しており、こうした企業がも

環境省 環境再生・資源循環局

のづくりを行う企業と連携して地域に密着した資源循環の取組を進めることで、地方創生にもつなげていくことができます。循環経済への移行は、国家戦略として取り組むべき課題であり、環境省としても様々な施策を実施していきます。

まず、新たな循環型社会形成推進基本計画（循環基本計画）の策定です。循環型社会形成推進基本法に基づく政府計画である循環基本計画について、現在、現行の計画（平成30年策定）の見直しを進めており、新たな計画の令和6年6月頃の閣議決定を目指しています。新たな計画では、循環経済への移行を通じたネットゼロ・ネイチャーポジティブの実現や経済安全保障・産業競争力強化・地方創生への貢献について盛り込むとともに、令和4年9月に策定した循環経済工程表を踏まえ、循環経済への移行に向けた施策の方向性や数値目標を明記することを目指しています。

さらに、脱炭素化と再生資源の質・量の高度化に向けた制度的対応についても、現在検討を進めているところです。今後、この検討結果を踏まえて、資源循環システムの高度化のための制度的・予算的な措置等を進めることとしています。

また、汚水処理については、現在、全国各地で下水道区域の見直しが進んでいるところであり、汚水処理の概成に向けて、今後、浄化槽の更なる普及拡大が見込まれます。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を一層推進するため、特定既存単独処理浄化槽の判断基準を明確化し適用実績の拡大につなげるべく、環境大臣指針の見直しに向けた検討を開始します。また、保守点検・清掃・法定検査など、浄化槽の適正な維持管理の確保についても課題となっている中、浄化槽台帳の整備・活用に向けて引き続き支援を行なうほか、令和5年度補正予算では、少人数高齢世帯の維持管理負担軽減支援の対象を個人設置型浄化槽にも拡充したことあります。これら支援を通じて、浄化槽の維持管理向上にしっかりと取り組んでまいります。

今後とも、資源循環行政の一層の推進のため、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年

旧年中は格別のご高配にあずかり、ありがとうございました。本年のご多幸をお祈り申し上げます。

令和6年元旦

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会 会長 河野正美

鹿児島県環境整備事業協同組合
福岡県環境整備事業協同組合連合会
岡山県環境整備事業協同組合宮崎県環境整備事業協同組合
山口県環境整備事業協同組合
長野県環境整備事業協同組合熊本県環境整備事業協同組合
島根県環境整備事業協同組合
栃木県環境整備事業協同組合
大分県環境整備事業協同組合
鳥取県環境整備事業協同組合
福山市環境事業協同組合

令和6年 年頭所感

環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課長 松崎 裕司



令和6年の新春を迎えるに当たり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会の皆様方におかれましては、日々、一般廃棄物の適正処理や浄化槽の清掃等、生活環境の保全及び公衆衛生の向上のために御尽力されていることに対し、深く敬意を表するとともに、廃棄物適正処理・資源循環行政の推進に格段の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、地震や台風、大雨等により、全国各地で災害に起因する被害が多く発生しました。被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。

頻発する災害に対し、適正かつ円滑・迅速な災害廃棄物処理の実施や、平時からの体制整備が一層の急務となっています。環境省では、貴連合会にも御参画いただいている災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)や、災害廃棄物処理経験を有する自治体職員を登録する「災害廃棄物処理支援員制度(人材バンク)」などによる被災自治体支援体制の充実を図っています。災害時には、その規模・状況等に応じて、発災直後から被災地に職員や技術専門家等を派遣し、全国の自治体や一般廃棄物関係団体、民間事業者等の御協力もいただきながら、被災自治体への災害廃棄物処理支援を行っています。

今後も、自治体による災害廃棄物処理計画の策定及び改定の支援や、国、地方自治体、関係機関等との連携協力の促進など、災害に強い廃棄物処理体制の構築に向けた取組を更に進めてまいります。

一般廃棄物の適正処理は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上の観点から厳然として不可欠であり、今後も更に推進する必要があります。

この重要性に鑑み、一般廃棄物処理に関する市町村の統括的責任の重要性、市町村の一般廃棄物処理計画を踏まえた廃棄物処理法の適正な運用について、引き続き周知徹底を図ってまいります。

約3年余り続いた新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、一般廃棄物の適正処理が地域に不可欠な業務であることを改めて認識する機会となりました。感染防止対策と廃棄物処理事業の継続の両立を図っていただいた関係者の御尽力と御協力に改めて感謝申し上げます。

一般廃棄物処理施設は、平常時及び災害時を通して一般廃棄物の処理を適正かつ着実に行い、地域の資源循環を支えるとともに、地域創生の基盤となる重要な社会インフラです。昨年変更した廃棄物処理法に基づく基本方針や廃棄物処理施設整備計画等を踏まえつつ、防災・減災や国土強靭化、廃棄物エネルギーの利用等の観点からも、循環型社会形成推進交付金やエネルギー対策特別会計等で支援することにより、早急かつ適切な更新を進めてまいります。

循環型社会形成推進交付金等による支援では、浄化槽の整備も重要です。浄化槽は地域の水循環を確保し、公共用水域の水質保全を図ることで生活環境の保全に寄与するとともに、災害にも強いという特長を有しています。また、地域の事業者の力で設置・維持管理が行われるため、地域活性化にも貢献できると考えております、一層の整備推進を図ってまいります。

また、現在、循環型社会形成推進基本計画の見直しを行っており、令和5年10月に、次期計画策定に向けた具体的指針の取りまとめを行いました。この指針に沿って、令和6年夏ごろの次期計画の閣議決定に向けて議論を進めてまいります。

本年も、昨年に引き続き、災害廃棄物を含めた一般廃棄物の適正かつ円滑な処理を推進するとともに、循環型社会と脱炭素社会との統合的実現に向け、全力を尽くしていく所存です。

皆様におかれましても、廃棄物・資源循環行政に変わらぬ御支援、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に、この一年が皆様にとって大いなる飛躍の年となりますよう、心から祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

「年頭所感」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課
浄化槽推進室長 沼田 正樹



新年明けましておめでとうございます。

平素より浄化槽行政の推進に御理解、御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、浄化槽の整備や維持管理を通じて、生活環境の保全や公衆衛生の向上に多大な貢献をいただいている皆様に対して、改めて感謝申し上げます。

我が国が本格的な人口減少期を迎えており、分散型処理施設である浄化槽はその強みをより發揮できる状況にあります。汚水処理未普及地域の多くは人口密度の低い地域であり、汚水処理の構成に向け未普及の状態を解消していくうえで、浄化槽の果たす役割はますます大きくなっていくものと考えています。

一方で、未だに約357万基が残存している単独処理浄化槽への対応や、適正な維持管理（保守点検・清掃・法定検査）の確保など、依然として多くの課題が残されています。議員立法により成立した改正浄化槽法が令和2年から施行されており、浄化槽台帳の整備などが徐々に進みつつありますが、改正法で設けられた新たな仕組みが十分に活用されていない状況も見受けられます。

こうした状況を受けた環境省の取組として、まず単独処理浄化

槽への対応については、特定既存単独処理浄化槽の判断基準を明確化し適用実績の拡大につなげるべく、環境大臣指針の見直しに向けた検討を開始します。また、維持管理の確保については、地方自治体による的確な指導の土台となる浄化槽台帳の整備・充実に向けた支援に取り組む他、令和5年度補正予算では少人数高齢世帯の維持管理負担軽減支援について、対象を個人設置型浄化槽にも拡充しました。令和5年度から保守点検・清掃実施率の全国調査を新たに開始したところであり、各地域の正確な実態把握を後押しするとともに、集計結果の分析を通じて、維持管理向上に向けた具体策につなげてまいります。

これらの制度や予算を活用し、課題を解決していくには、それぞれの地域における行政・事業者・関係機関の連携が欠かせません。関係者の皆様には、協議会の設置・活用をはじめとする連携強化に向けた取組を引き続きお願いいたします。

人口減少に伴い労働人口も減少していく中で、行政・事業者双方におけるデジタル化への対応など、社会状況を踏まえた変化が求められます。汚水処理施設の構成、さらにはその後も見据え、持続可能な浄化槽システムのあり方を考えいかなければなりません。環境省としては、こうした点も念頭に置きつつ、関係者の皆様と手を携えて、浄化槽行政を進めてまいりたいと考えています。本年も御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、皆様のますますの御健勝と御発展を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

各県の会長・理事長 新年のごあいさつ



鹿児島県環境整備事業協同組合
理事長 宮地光弘

新年あけましておめでとうございます。
全国環境連の会員、関係者の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりご指導、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、3年以上にわたって世界を苦しめてきた新型コロナウイルス感染症による行動制限も緩和され、平穏な日常が戻りつつあります。ただし、世界に目を向けると、各地における平和を脅かす事案、そして世界的な金融引き締めに伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気に影響を及ぼすことが懸念されるところです。国においては、私ども事業者の負担軽減が図られるような各種施策が展開されることを期待しております。

一方、スポーツ界では、3月の侍ジャパンによるWBC制覇や大リーグエンゼルス大谷翔平選手の異次元の活躍などにより国民が熱狂に包まれました。本県でも、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催され、各競技会場では、連日熱戦が繰り広げられました。

また、昨年は奄美群島の日本復帰70周年の節目の年でありました。当組合にも奄美群島に12社の組合員がおりますので、今後とも緊密に連携を図っていく必要があることを再認識したところです。

本組合では、強固な経営基盤づくりや、時代の変化や多様なニーズに即した先進的対応、そして社会から信頼・評価される事業活動を目指して、各種活動に積極的に取り組んでおります。

その一環として、性能評価型浄化槽が従来の構造例示型の保守点検とは別物であることから、組合では平成30年からその適正な維持管理のありかたについて協議を重ねてきました。その流れを受け、昨年には、(公財)鹿児島県環境保全協会で県内統一の保守点検自主基準がまとめられました。この自主基準に沿って浄化槽の適正な維持管理に努めていくこととしております。

本組合は、昨年創立50周年を迎えるました。組合員各々の相互発信による情報を共有しながら、率直な対話を重ねて、組合員の皆様に支援が行き渡るように努めるとともに、わが業界が安定的に発展していくための環境を整えていきたいと考えております。

終わりに、河野会長を中心とした全国環境連の更なる発展と会員の皆様の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



宮崎県環境整備事業協同組合
理事長 岩本晋時

新年明けましておめでとうございます。
皆様には新年を迎え、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国環境連第19回全国大会が熊本市で開催されました。今回の全国大会では「創造的復興～水の新時代～」をテーマに、水処理専門業者として求められているSDGs目標と、2050年のカーボンニュートラルの実現を目指し、公衆衛生の向上に寄与していくとともに、集合処理地域の人口減少対策として災害に強い浄化槽を推進し、災害支援の更なる強化と、財産として未来に残せる水環境の構築実現を目的とした大会となりました。21世紀は環境の世紀と言われる中、経済情勢や国等の動向を踏まえながら、将来を見据えた意識改革に努めると共に、適正業務の遂行、経営基盤の安定、次世代を担う人材の育成など一丸となって取り組んでいくことが必要です。

近年、毎年のように自然災害が発生し、災害廃棄物に対する事前の重要性が改めて認識されています。災害廃棄物に対する平時の備えを充実するとともに自治体による災害廃棄物処理計画の策定支援、県市町村との災害協定や連携協力の促進など、災害に強い廃棄物処理体制の構築に向けた取り組みを進めていくことが求められています。

さて、全国の汚水処理人口普及率は令和4年度末現在92.9%に達していますが、人口5万人未満の自治体においては83.4%と低い状況にあります。都市郊外や地方部において効率的な整備が可能な浄化槽の特徴を十分に活かし、汚水処理施設の未普及解消を進める必要性があり、特に単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の加速化に取り組むことが重要となります。さらに浄化槽による適切な汚水処理サービスを持続的に提供するためには、浄化槽設置後の適切な維持管理が必要であり、そのためには関係者が連携してデジタル化された維持管理データを収集・整備し、活用していくことが効果的と考えられます。人口減少及び少子高齢化が進むことで、関係技術者の確保が困難になることを見据え、生産性の向上を目指してデジタルフォーメーション(DX)を推進することが浄化槽分野にも求められます。

最後になりますが、本年も皆様方のご指導、ご鞭撻の程をお願いすると共に、全国環境連の皆様のますますのご繁栄とご多幸を心からお祈りいたします。

大切な資源を活かして豊かな未来環境の創造へ

モリタエコノスは環境保全特殊車両メーカーとして培った豊富な技術実績と
新たな技術開発によりあらゆるニーズに合わせたご提案をいたします。



株式会社モリタエコノス

本社・工場 〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク28番地
Tel.079(568)2006 Fax 079(568)7706

<http://www.morita-econos.com>



ハイプレクリーナー
(高圧洗浄車)



パックマスター
(回転式塵芥車)



パワフルマスター
(強力吸引車)



EP 2 (バキュームカー)
(衛生車)

■全国販売網及びサービス網

仙台支店	Tel.022(237)4171(代)	京都営業所	Tel.075(631)3391(代)
埼玉支店	Tel.048(777)1891(代)	広島支店	Tel.082(893)2231(代)
西東京支店	Tel.042(568)2971(代)	四国支店	Tel.087(841)3330(代)
千葉支店	Tel.043(243)2737(代)	福岡支店	Tel.092(591)1201(代)
東京支店	Tel.03(5569)1740(代)	鹿児島支店	Tel.099(282)8352(代)
神奈川支店	Tel.045(506)0031(代)	代理店	
名古屋支店	Tel.052(882)4571(代)	北海道モリタ	Tel.011(721)4114(代)
新潟支店	Tel.025(265)0276(代)	北海道特殊自販(株)	Tel.011(784)4222(代)
静岡支店	Tel.054(281)2388(代)	有沖縄モリタ特殊サービス	Tel.0988(77)6677(代)
関西支店	Tel.072(947)2121(代)		



**熊本県環境整備事業協同組合
理事長 篠崎 武**

新年明けましておめでとうございます。
全国環境連会員の皆様方には、日頃から格段の御厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年は5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行し、ようやく長くて暗かったパンデミックの雲が晴れていく中、10月に第19回全国環境連全国大会を熊本市で開催させていただきましたが、多数の会員の皆様にご来場いただき、おかげをもちまして盛会の裡に終えることができました。

全国環境連の創立以来初めての熊本での開催でしたが、組合員や事務局の経験値も少ない中で何とか開催できましたのは、過去の大会経験談と併せて、たくさんの励ましの声を届けていただいた全国の仲間の皆様のご支援の賜物と感じております。あらためて深く感謝申し上げます。

熊本大会では、テーマを「創造的復興～水の新時代～」とさせていただきましたが、平成28年熊本地震や令和2年熊本豪雨のような大規模災害の被災から立ち上がり、熊本の水や自然景観などの豊かな環境と、人々のくらしや「食」などの温かい地域文化を大事に継承しながら、世界最大の半導体受託製造企業であるTSMC(台湾積体電路製造)の生産拠点の立地を推進するなど、新しい時代へと向かう熊本の元気な姿を感じていただけたのではないか、と思います。昨年の夏は平均気温が過去最高の記録的猛暑となり、地球温暖化の影響が顕在化し各地で災害が頻発する昨今ですが、熊本大会が、熊本から支援の手を届け、また熊本の復興を引き続きご支援いただく契機とできましたら望外の喜びです。

世界的な経済情勢の変化も加わり、燃料費をはじめとした各種資材の値上がりが続いており、人手不足や人件費の高騰なども重なって、業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。個々の事業者の皆様のご苦心は増すばかりですが、ドジャースへ移籍する大谷翔平選手の大活躍も地道な努力を日々積み重ねた結果であることを肝に銘じ、躍進の年となるよう、持続可能で健全な水循環社会の実現に向けて、真摯に業務に向き合い、次世代の人材育成や意識改革などに会員の皆様と積極的に取り組んで参りたいと思っております。

本年11月15日(金)には組合設立50周年記念式典を熊本市にて開催いたします。昭和49年の設立以来頂いてきたご支援とご高配に感謝を捧げながら、市町村をはじめとした関係各位との連携を更に深め、次の時代を拓いて参る起点としたいと考えております。

最後になりましたが、本年も全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会並びに各県組合が、より一層発展致しますよう祈念申し上げますとともに、熊本県がその一翼を担えるよう、努力して参りますので、関係各位におかれましては、昨年同様、一層のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



**大分県環境整備事業協同組合
理事長 穴南 幸司**

令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。また、平素より当連合会会員の皆様方におかれましてはご指導、ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、ここ数年は幾多の試練と課題に立向う中で、多くの方々と共にその困難を克服し、継続した水環境の保全と公衆衛生の向上に努めて参りました。また、そのような環境の元、多様化するニーズと変革の中で多くの経験を積み、新たなプロセスを経て一步を踏み出し成長を遂げたわけでございます。

今後におきましても、デジタル化を含めた技術革新と経営の継続的改善は必須であり、有益的側面の具現化と抽象化を図りながら、浄化槽の維持管理及び一般廃棄物処理に対して、より高い品質の提供と作業の合理化・効率化を実現し、お客様に価値ある柔軟なサービスの提供を行ったための努力が必要となります。

さて、今年は全国環境連傘下の三県におきまして、組合法人設立50周年を迎えると聞いております。法人が半世紀の長きに渡り、先人達の精神と意を継承し、幾多の難局を乗り越えられてきたその御功績に、心から敬意を表すると共に、記念事業のご成功とご盛会を心からご祈念致す次第であります。

私共組合員も常に学ぶ姿勢を忘れず、多くの知見を広め、謙虚な心を持ち、持続可能な社会を構築するための活動を推進していく必要があります。そのためにも、事業の取組を一層強化し、アライアンスの形成とステークホルダーとのより高い信頼性の確保が必要となります。また、経営者と現場とが常にお客様の声を真摯に受け止め、改善の機会として受け入れることも重要となります。また、今後特に懸念される業界の労働力人口においては、インセンティブの更なる強化やゼネラリストの育成と各種トレーニングの実施、安全な労働環境の提供と社員が誇りと矜持を持って安心して働く組織の構築が不可欠となります。

また、行政事務の代行者として、付加価値のあるサービスの提供と、地域社会への奉仕を一層強化し、地域の更なる発展に寄与すること。地域社会との連携を強化し、地域の課題等に共に取り組む姿勢が求められます。

終りになりますが、新たな年も更なる連携の強化を図り、河野会長を中心とした全国環境連の発展と結束を一層強め、各県組合員の皆様方がそれぞれ自負心を抱き、多方面においてご活躍されますことを心からご祈念致しまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

金沢から

全国、海外に…

**誠意と信頼の
ネットワーク**



■取扱商品

エアーポンプ・ブロワー ガス検知器・送排風機
電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
配水管清掃機器・薬剤 清浄槽関連部品・FRP補修剤
給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
マンホール・その他
水質検査器・理化学機器 清浄槽用消毒薬・維持管理剤

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。



株式会社 日環商事

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地

TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348

FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718

E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp

http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101

TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7

TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718



福岡県環境整備事業協同組合連合会
会長 永野 孝明

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会会員の皆様方には、ご家族共々輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

令和2年1月に新型コロナウイルス感染症が日本国内で確認されて以来、8度に渡る感染拡大で緊急事態宣言、蔓延防止措置等の発出など、これまでに経験したことのない厳しい状況が3年余り続きました。

昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが、2類から5類に変更となり世の中の活動も活発となっていました。今後、新たな感染症発生の可能性や大規模災害等に備えて、平時から市町村と連携して廃棄物処理の体制を構築して、国民生活・国民経済の安定確保に努め、これまでと同様に事業を継続することが求められています。

昨年は、全国環境連第19回全国大会が10月13日に熊本市のホテル日航熊本で「創造的復興～水の新時代～」をテーマに開催されました。2016年4月の熊本地震、2020年7月の豪雨からの力強い復旧復興を感じる大会となりました。

さて、福岡県では、「浄化槽管理士に対する研修」が昨年度も年6回開催されました。また、福岡県浄化槽台帳協議会では、主な目的である浄化槽台帳の整備と維持管理情報の収集方法について、一定性の方向性が確認されたことから、今後は、維持管理情報報告の円滑な実施に関する協議を行い、浄化槽に関するより幅広い内容について協議を進めていくことになっています。

我々は、協議会の一員として、また水処理専門業者として、法令順守の下、地域の水環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与し、災害に強く、経済性に優れた浄化槽は国民生活、国民経済の安定確保、地方創生や国土強靭化の観点からも不可欠なインフラであり整備促進を図っていかなければなりません。よって我々は社会を支える上で必要不可欠な立場にあり課せられた使命は大変重責なものがあります。

終わりに、本年も皆様方のご指導、ご鞭撻の程をお願い致しますと共に、全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会会員の皆様方の、益々のご発展とご健勝、を祈念しまして新年の挨拶と致します。



山口県環境整備事業協同組合
理事長 山田 幹二

新年あけましておめでとうございます。
全国の会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日頃より組合活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年はようやく新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に引き下げられたものの、インフルエンザの早期流行等の影響もあり、予断を許さない日々が続いております。世界情勢を見てもウクライナ紛争の長期化をはじめ、国際秩序が激変しており、日常生活に多種多様な影響が生じてきています。自然災害においても、私たち山口県も例外ではなく、豪雨災害に直面し、未だ完全な復旧には至っておりません。しかし、現状を悲観するばかりではなく、革新していくための好機としても捉え、本年も一歩ずつ着実に歩みを進めてまいりたいと思います。

昨年は、山口県が主催する市町担当者に向けた「合特法に係る説明会」が3年振りに開催されました。現在では過半数の市町で合理化事業計画が策定されており、今回は計画の適正な更新を中心とし、災害協定を履行するためにも本計画の内容が重要であることを周知いたしました。今後も良好な関係を継続していくよう、我々は自治事務の代行者として誇りを持って日々の業務に邁進していく所存であります。

組合主催の研修関係では、毎年恒例となった電気系保全技術講習を、10月に初級講座、12月に中級講座として開催いたしました。さらに今年からは、小型合併浄化槽に関わる全般的な補修作業を目的とした新しい講習を開催してまいります。(一社)山口県浄化槽協会との共同開催である「浄化槽セミナー」が今年も2月に予定をしており、正しい知識の習得と継続学習を目標に、これまで以上に専門性を高め、判断能力を養うことで、より効率的な業務遂行の一助となるべく取り組んでまいります。

2024年の干支である「甲辰(きのえ・たつ)」は「成功という芽が成長していく、姿を整えていく」と言われています。皆様と共に歩んだ歴史が20周年を迎える、組織の体制がさらに盤石なものとなることを願っております。

最後になりましたが、本年も河野会長を中心に一致団結し、全国環境連並びに各県組合がますます発展いたしますよう祈念申し上げますとともに、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

溶存酸素計 DO計	pH/ORP計	MLSS／界面計	塩素イオン計
ガルバニ式センサー交換タイプ DO-10Z 	pH/ORP計 KP-10Z pH計 KP-10F 計量法 型式承認 計器本体 第SS142号 電極 第S142号 測定範囲 pH : 0.00~14.00 pH ORP : 0~±1900mV(KP-10Zのみ標準) 温度 : 0.0~50.0°C	MLSS／界面計 SS-10Z MLSS計 SS-10F 測定範囲 MLSS : 0~20000mg/l 水深 : 0.00~5.00m (SS-10Zのみ)	測定レンジ自動切替機能付 CL-11Z
その他の営業品目 濁度計、色度計 UV式COD計、導電率計			測定原理 固体膜塩素イオン電極法 測定範囲 : 0.1~2000mg/l
KRK 笠原理化工業株式会社 https://www.krkjpn.co.jp 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8 TEL.0480-38-9151(代) FAX.0480-38-9157			



鳥取県環境整備事業協同組合
理事長 米山二郎

新年明けましておめでとうございます。全国の組合員の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。今年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年には数年続いた新型コロナウイルス禍が5類感染症移行となり、やっと落ち着きつつありますが、種々の感染症はまだまだ終息せず、組合員の皆様も日頃の事業遂行にあたり、ご苦労は続くと思われます。世界に目を向けると、ロシア・ウクライナ戦争に加え、中東ではイスラエル・パレスチナ紛争が勃発するという大変な事態が起こりました。未だにその行方は定まらず、世界中がその対応に追われています。引き続き世界中のエネルギーや食糧の需給に大きな影響を与え、日本でも燃料の高騰や食料品の値上がりなど様々な影響が発生しており、今年も続くと思われます。我々の業界も作業車の燃料はじめその影響は甚大であり、様々な苦境が継続しそうです。

こうした状況に際し、国をはじめ地方自体も様々な対策を講じていますが、必ずしも十分ではなく今後も対策の継続が必要でしょう。我々にも、さらなる対応が求められるでしょうし、全国環境連・各県組合と共に果敢に取り組みながら事業の遂行に努めたいと思います。

さて、昨年の第19回全国大会は熊本市において開催されました。篠崎理事長はじめ熊本県組合の皆様の行き届いた準備のお蔭で、素晴らしい大会となりました。大会後の皆様との交流は、当地の御馳走と共に大変有意義なものとなりました。

全国環境連では、委員会の見直しも決まり、理事会を中心にその実行が進められています。来年の第20回記念全国大会準備をはじめ、青年部の活躍も頼もしい限りですが、組合員一人一人が自分のこととして気持ちを新たにしたいと思います。

本県組合でも地方自治体や他の業界団体との連携を引き続き強固なものとし、改めて自治事務の代行者として法令遵守の基で社会的責任を自覚し、地域のため住民のために役割を果たすという基本理念を確認しつつ、皆様と共に難題に取り組んで行きたいと思います。

本年も全国環境連並びに各県組合が、より一層発展いたしますよう祈念申し上げますと共に、本県組合もその一翼を担えるよう努めて参ります。

終わりに、本年も組合員皆様の益々のご健勝とご発展を心からお祈り申し上げますと共に、皆様の一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



鳥取県環境整備事業協同組合
理事長 大川和彦

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましてはつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はロシアによるウクライナの侵攻が世界経済に影響する中、イスラエルとハマスの軍事衝突もあり、さらなる悪影響が懸念されます。一方、新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、外国人観光客も増大し、ようやく国内の経済活動も活発になりました。

業界におきましては、燃料や資機材の高騰、円安や賃金アップ、人材不足など事業運営の厳しい状況が続くと考える会員も多いと思います。

鳥取県におきましては、浄化槽法改定に伴い設置された法定協議会「鳥取県浄化槽整備及び適正管理推進協議会」も3年目となり、昨年度からは浄化槽台帳の正式な運用、法定検査の判定基準適用の見直し、特定既存単独浄化槽の取り扱い、県及び権限委譲された市町における行政指導の統一化など、適正な浄化槽維持管理の向上に対し大きく寄与すると期待されています。また、この協議会の運用に対して環境省から他県のモデルとなる有効な取組であるとご高評いただいており、さらなる向上を目指しているところです。

このような中、昨年、環境省主催の「浄化槽トップセミナー鳥取」を1月に鳥取市で開催しました。このセミナーは、市町村長、市町村議会議員等の地方公共団体の政策決定に携わる者を対象に、経済的・効率的な生活排水処理施設として、強靭かつ住みやすいまちづくりに資する浄化槽の特長や地域の実情にあった生活排水処理施設の整備手法を選択するための提案、説明等を行い、浄化槽に対する理解を深めていただくもので、関係者約200人の出席がありました。

一方、県内にも地方公共団体所有でありながら生活雑排水が未処理のまま放流されている単独処理浄化槽が多数あり、生活環境保全上、特に避難所に指定されている施設は、当組合主導によるPFI事業により早急に合併処理浄化槽へ転換されることを提唱したいと考えます。

全国環境連におきましても、毎年頻発する災害に対して支援するネットワークの運用が始まる中、環境省や地方公共団体との連携も強化していかなければなりません。「竜が水を得たる如し」という格言があるように、全国環境連は人材や物事など恵まれた環境にあり、その能力をフルに活かして業界を先導する団体になっていかれることをご祈念申し上げます。



臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に デオマジック®VC1 オイル DEOMAGIC® VC1 Oil

- お 得！ 脱臭剤が不要になります。
- 簡 単！ 今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけ
- 新技術！ 不快臭を吸込んで良い香りに変える技術

デオマジック®VCオイルは糞便臭を甘い香りに変化させる潤滑油です。
作業者様や地域住民の皆様に大好評です。

お問い合わせ先

東邦車輛株式会社 部品営業課
〒236-0043 神奈川県横浜市金沢区大川1番1号
TEL:045-784-1195 / FAX:045-784-1196
Email:deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp



DEOMAGIC® VC1 Oil
デオマジック® VC1 オイル

全国ネットの特装自動車の総合メーカー
東邦車輛株式会社

営業本部	TEL : 045-575-9901	信越営業所	TEL : 025-283-6571
直販部	TEL : 045-575-9902	中部支店	TEL : 052-218-5123
直販部直販課	TEL : 045-575-9253	金沢営業所	TEL : 076-223-1191
北海道支店	TEL : 011-633-7101	近畿支店	TEL : 0798-52-2100
東北支店	TEL : 022-782-5040	東邦車輛サービス	TEL : 072-433-2401
仙台部品出張所	TEL : 022-782-5065	中四国支店	TEL : 082-890-2882
白山支店	TEL : 0276-89-1551	九州支店	TEL : 092-441-1951
茨城営業所	TEL : 0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL : 092-441-0634
関東支店	TEL : 03-3843-3351	南九州営業所	TEL : 099-252-2070



栃木県環境整備事業協同組合
理事長 菊地 豊樹

新年明けましておめでとうございます。
令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会会員の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

組合事業運営につきましては、平素から多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、新型コロナが5類に移行され、インフルエンザと同じ扱いとなり、コロナワクチン接種についても一部を除いては自費負担となり始めました。

これからは、ウィズコロナの下、引き続き感染症の予防と安全の確保に十分に留意しながら、この緊急事態を乗り越えていきたいと思います。

海外では、2年近くになっていても停戦が見えないロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの間で、大規模攻撃が勃発し多くの被害者が出ている中、混沌とした世界情勢に不安を感じています。

国内外問わず今年多くの自然災害がありました。

特に、トルコ・シリア大地震、リビア東部の洪水、ハワイ・マウイ島の山火事等自然災害の驚異を思い知らされた一年となりました。

同じく日本各地でも線状降水帯が多く発生し、日本国民を脅かしております。そんな中、2011年3月に発生した東日本大震災の影響により福島第一原発建屋内にある放射性物質を浄化し海へ放出され、現在のところ被害もなく順調に処理されているようです。

依然として続く少子高齢化による人口減少、それに伴う雇用問題や後継者不足、国力の低下による予算縮減、さらには下水道整備に伴う業務の減少など、今後ますます事業の継続が困難な時代を迎えようとしております。

このような状況においても、我々一般廃棄物処理業者は、変化に強い組織作りをし、次世代にこの事業を継承していかなければなりません。だからこそ地域の水環境を通じて社会に貢献すること、し尿収集運搬・質の高い浄化槽の清掃並びに維持管理業務遂行の推進と信頼性を確立し、仕事の重要性を見つめ直し、業界での将来あるべき姿を追及してまいります。地域住民そして行政機関からの信頼・信用を得て業界関係団体とのより一層の連携強化を図り良い結果を勝ち取るため、心新たに致したところであります。今後とも格別のご支援・ご指導賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、河野会長を中心に一致団結し、全国環境連並びに各県組合員の皆様方のご健康とますますのご活躍をご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



岡山県環境整備事業協同組合
理事長 牧 生夫

新年あけましておめでとうございます。
全国環境連の会員の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨今のコロナ騒動につきましては、昨年5月8日から感染法上の位置づけが5類に移行され、平常の生活を取り戻されてきているところであります。理事長就任の一年目は、コロナにより残念ながら満足な総会等が開催できなかったところですが、昨年は5類に移行ということで、以前の形での会合が行えるようになり、充実した一年となりました。

昨年10月には、熊本県環境整備事業協同組合の組合員皆様のご尽力により、「創造的復興～水の新時代～」をテーマに、全国から多くの組合員の皆様が参加し、全国環境連の全国大会が盛大に開催されましたこと厚くお礼申し上げます。講演としまして環境省の松崎裕司課長様の「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向」を拝聴し廃棄物処理を担う者として責任を改めて痛感するとともに、地元熊本市出身の女子プロゴルファー古閑美保様の「夢をかなえる気持ちの作り方」と題した講演も興味深く拝聴させていただきました。さらに、懇親会につきましても、数々のアトラクションやシークレットゲストの登場など、盛りだくさんで充実した大会となりました。

地方創生が叫ばれる中、全国大会の開催により全国会員の皆様の絆が深まり、より一層協働して廃棄物処理の責務を担うことができるものと思っております。

令和6年の干支は、甲辰（きのえ たつ）であります。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力が旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

干支にちなみまして、全国環境連並びに各県組合の皆様の努力が結実し、ますます成長されること及び会員の皆さまのご多幸・ご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

発行者

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24 AKビル5階B



全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
会長：河野正美

TEL 03-5207-5795 FAX 03-5207-5796

年間購読料 2,200円 1部 220円 消費税含

し尿収集容量表示計 環太郎®

“環太郎”は収集量の正確な計測と、料金の明瞭化でし尿処理業務の最適化を推進します。

簡単操作で速くて正確そして安価！

◆取り付けが簡単！

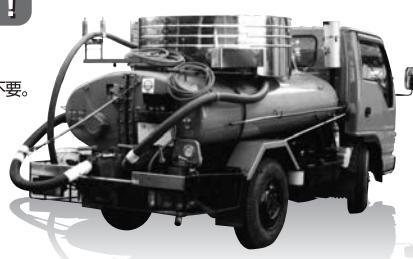
シンプルな構造で、空気／液体分離用タンクや計量器のロードセルは不要。
出張取り付けも可能です。

◆安価！

流量計や計量器と比較して、けた違いに安価です。ご予算に応じてオプションを追加できるのでお手軽にグレードアップが可能です。

◆高精度！

粘度や異物、真空、加圧、坂道など関係なく精度よく計測し、収集量を正確に数値表示します。
振動や、タンク・車両・ホースなどの自重による誤差が生じません。（誤差1～2%以内）



IC-SOKKI
IC Measuring Instruments Co.,Ltd.

アイシー測器株式会社

本社／〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2丁目14-46
TEL.06-6384-1543(代) FAX.06-6338-8557

URL <http://ic-sokki.sakura.ne.jp>
E-mail ic-sokki@arion.ocn.ne.jp